

教育の対処能力向上

教職員が熱心に研修

C
L
原
権

「思春期のライフスキル教育」プログラムワークショップ(権原市教育委員会、同市小中学校校長会共催)が29日、同市小房町の市立中央公民館で始まった。同市の小中学校15校の教職員ら24人が参加した。きょう30日まで。

子供たちの自尊心を高め、日常生活での諸問題への対処に必要な能力を育成するためのプログラムを体験する取り組み。

開校式で、同校長会の中川永敏(傍北小学校)校長は「この機会にぜひスキルアップしてほしい」とあいさつ。菅生会長は「ライフスキルプログラムの奉仕のメインがライフスキル講座。2

日間しっかり勉強し、ライフスキル認定講師の先生になっていただく」と激励した。研修では、ライフスキル認定講師の柴咲子さんがワークショップ形式で、知り合



ライフスキル教育の研修を受ける教職員＝29日、権原市小房町の市立中央公民館